

# グリーンボンド発行時レポート

2020年12月25日

奥伊吹観光株式会社

滋賀県米原市甲津原 530

## 1. 調達資金の充当

### 1-1. 資金充当予定のプロジェクト

本社債による調達資金は、以下のプロジェクトに充当される予定です。

名称	事業区分
奥伊吹水力発電所	再生可能エネルギーに関する事業

### 1-2. プロジェクト概要

プロジェクトの概要は、以下の通りです。

#### ■プロジェクト概要

事業主体	奥伊吹水力発電合同会社
事業実施場所	滋賀県米原市甲津原瀬戸山 124 番地
発電方式	水路式(流れ込み式)
最大出力	199kW
着工	2020 年 7 月
竣工予定	2022 年 6 月
事業主体概要	奥伊吹観光株式会社(以下、当社)と株式会社 KANSO テクノスによる合同会社
事業概要	水路式水力発電設備の建設・運営を通じて、再生可能エネルギーである水力を利用した電力を発電することで、グリッド電力を代替し、CO2 排出量削減を企図します。 年間予定発電量は 1,350MWh であり、発電された電力は、再生可能エネルギー固定価格買取制度を活用し、関西電力株式会社へ 20 年間に亘り売電します。

### 1-3. 資金充当の予定

当社が調達する資金は、奥伊吹水力発電合同会社への出資金・貸付金として以下のスケジュールで充当されます。なお、奥伊吹水力発電合同会社は、当社から調達した資金および株式会社 KANSO テクノスから調達した資金を原資として事業を運営し、2022 年度内に資金利用は完了する予定です。

	グリーンボンド起債額	奥伊吹水力発電合同会社への充当額
2019 年度	-	10 百万円*1
2020 年度	150 百万円	60 百万円*2
2021 年度	-	90 百万円
2022 年度	-	12 百万円
合計	150 百万円	172 百万円*3

\*1: 全額がリファイナンスとなります

\*2: 30 百万円がリファイナンスとなります

\*3: 合同会社としての総事業費は約 344 百万円となります

調達資金については、グリーンボンドフレームワークに則り、適切に管理します。

また、未充当資金については、現金または現金同等物、短期金融資産等で運用します。

## 2. 環境改善効果

プロジェクトによる環境改善効果および想定値は、以下の通りです。なお、環境改善効果は、グリーンボンドフレームワークに記載した算定方法に則り算定しています。

環境改善効果	想定値
<b>水力発電による CO2 排出量の削減</b> 再生可能エネルギーである水力を利用して電力を発電することで、グリッド電力を代替し、CO2 排出量を削減します。	450 t-CO2

### ■算定方法の詳細

前提条件	想定発電量: 1,350 MWh/年 関西電力の排出係数(調整後排出係数): 0.334 t-CO2/MWh※ 総事業費(プロジェクト総額): 344 百万円 起債額: 150 百万円
算定式	【事業全体の CO2 削減量】 CO2 削減量 [tCO2/年] = 発電量 [MWh/年] × 電力 CO2 排出係数 [t-CO2/MWh] ⇒ 450 t-CO2/年 = 1,350 MWh/年 × 0.334 t-CO2/MWh 【総事業費に対するグリーンボンドの起債額の割合に応じた正味 CO2 削減量】 正味 CO2 削減量 [tCO2/年] = 事業全体の CO2 削減量 [tCO2/年] × 起債額 ÷ 総事業費 ⇒ 196 t-CO2/年 = 450 t-CO2/年 × 150 百万円 ÷ 344 百万円

備考

※「電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)－H30年度実績－ R2.1.7」(環境省・経済産業省)より

### 3. レポーティング体制

本レポートは、グリーンボンドフレームワークに記載したレポーティング方針に則り、当社総務部を主管として作成されました。また、本レポートとグリーンボンド原則等の要件との適合性に関するレビューを、独立した第三者機関である株式会社格付投資情報センターより受けております。